

WAKAYAMA AZALEA ROTARY CLUB



Weekly Report

VOL. 13 No. 32 TOTAL 551 平成23年4月4日 第569回例会

[例会日] 毎週月曜日 12:30~13:30

[例会場] 和歌山市湊通り丁北2-1-2 アパローム紀の国

[事務局] 和歌山市雑賀屋町52 南方ビル2階(T640-8249)

TEL073-435-3470/FAX073-435-3472

E-mail: wa-az-rc@naxnet.or.jp

会長/田原サヨ子 [会報委員]
副会長/安宅 浩一 ○北畑 充香 ○石垣 秀幸
幹事/野村 伸 石橋 暎子 三木 民生



2010-11年度
国際ロータリーのテーマ

地域を育み、大陸をつなぐ

RI会長 レイ・クリンギンスミス

2010-11年度
アゼリアロータリーのテーマ

『行動するロータリアンを目指そう』

〈本日の例会〉

- 第569回例会 4月4日(月)
- ☆ ひかり基金贈呈式・報告会
- ☆ アジア眼科医療協会の活動報告
- ☆ 第11回ダラムサラ(インド)アイキャンプを終えて
- ☆ アジア眼科医療協会 常任理事
- ☆ 医療法人 英悠会 理事長 松本英樹様

〈次回のお知らせ〉

- 第570回例会 4月11日(月)
- ☆ 誕生会
- ☆ 外部卓話『最近のガーデニングについて』
- ☆ 小島ガーデン代表 和歌山中RC会長 小嶋克己様

〈前回の例会記録〉

- ローターソング
- ゲスト紹介 米山奨学生 ワン・レンホーさん
足立聖子さん 松本 博さん
- ビジター紹介
- 出席報告 会員数44名
本日の出席(3/28) 30/43名 69.76%
前々回修正出席(3/7) 34/43名 77.27%
- メイクアップ 役員及びクラブ行事へ 2名

〈四つのテスト〉

言行はこれに照らしてから

- I. 真実かどうか
- II. みんなに公平か
- III. 好意と友情を深めるか
- IV. みんなのためになるかどうか

●市内9ロータリークラブ例会情報

クラブ名	日時	内容
和歌山北	4月4日(月)	クラブフォーラム「雑誌月間にちなんで」
和歌山	4月5日(火)	「WCS帰国報告」
和歌山サンライズ	4月5日(火)	
和歌山東南	4月6日(水)	
和歌山西	4月6日(水)	(第5回ご家族参加Day)第20回和歌山県青年會の文化講演会について
和歌山東	4月7日(木)	
和歌山城南	4月7日(木)	外部卓話「ノース鋼機 創業者 西本貫一氏と私」
和歌山南	4月8日(金)	卓話「輸血の今と昔」
和歌山中	4月8日(金)	フリートーキング トークテーマ「原発事故の真相は？」

会長報告



会長 田原サヨ子

先ほどJ R和歌山駅前で行われた「東北関東大震災に対する義援募金活動」への御参加ありがとうございました。

担当委員をはじめ皆様本当にご苦勞様でした。

本日の、会長報告をいたします。まず、先日北畑米嗣会員のお見舞いに行きまして。後日ご本人からお礼の電話があり「お陰で快方に向かっており、ただ今自宅療養中です。会員の皆様によりしくお伝えください」とのことでした。

続いて理事会報告です。今回の理事会は、次年度の理事役員予定者と合同で開催しました。

3月19日に開催されるPETSの案内が、ガバナー事務所(米田ガバナー)とガバナーエレクト事務所(林ガバナーエレクト)より別の内容で届き、会長より2640地区が今まで混乱していた過程の説明がありました。ガバナーエレクト事務所(林ガバナーエレクト)から届いたPETSへの参加が正式と判断し、アゼリアRCとしても林氏を正式に次期ガバナーとして承認するというクラブの方針を明確に再確認いたしました。

最後に、本日のアゼリア会は鹿嶋会員、足立会員、松本会員以上3名の方の歓迎会と、ワンさんの送別会です。担当委員の皆さん、どうぞよろしくお願ひ致します。

幹事報告



幹事 野村 伸

東日本地震災害街頭募金活動、寒い中ありがとうございました。

◎社会奉仕委員会

松本良二会員



3月28日 17:00~18:00 JR
和歌山駅前西口広場にて、東日本大
震災に義援金を送るための募金活動
を行ないました。メンバー25人（ワ
ンさん、佐武さん含）参加していただきまし
た。私達の募金活動に取り組む基本的姿勢は、まず自らが
募金をしてから、支え合う善意の募金を呼び掛ける
のが原則だと思います。今回においてもメンバーが
たくさん募金していただきました。おかげをもちま
して、合計262,419円 浄財をいただきました。この
金額に社会奉仕予算からワンワン基金の分を差し引
いた残金（未定）をプラスして、日本赤十字を通じ
て被災地へ届けたいと思います。テレビなどの報道
を見て被害の大きさに驚き、これ以上大きくなり
ないことを願うばかりです。私たちにおいても、南海
地震が起る可能性を思うと対岸の出来事ではなく、
防災への準備と取組みが必要と思います。

募金活動をしていていつも思うことは、小学生、中
学生、高校生など、日本の将来を担う若い人が積極
的に募金していただき、若い人たちに感謝し、私自
身がみなさまの暖かい心に触れ素直に感謝の気持ち
を込めて「ありがとうございます」と言えました。
被害に会われた方々が1日でも早く立ち直られます
ように、また復興には10~20年掛かるので長期的な
支援が必要と思います。

申し分けありませんが、あらためて心をきれいにす
る機会でもありました。まだまだ修業が足りません。



◎R財団米山奨学委員会

柴田美和会員

米山奨学生ワン・レンホーさんへ3月分奨学金補助
金授与。今回最後の例会出席となり、アゼリアRC
より社会人となるワンさんに記念品としてネクタイ
をプレゼントさせていただきました。

楽しい思い出をありがとうございました。





【新入会員の紹介】



足立 聖子さん

4月より入会されます。

勤務先 : 足立法律事務所

生年月日: 昭和43年11月3日

事業内容: 弁護士事務所

所在地 : 和歌山市本町1-43 和歌山京橋ビル2F



松本 博さん

5月より入会されます。

勤務先 : 有限会社プラネットウェイブ

(ライブハウス OLD TIME)

生年月日: 昭和28年10月22日

事業内容: ライブハウス経営・各種イベント・パーティ企画制作

所在地 : 和歌山市北新5丁目70 ひめビル1F



中尾 八朗会員

3月に入会。福西会員の転勤に伴い、後任として入会されました。

勤務先 : エース証券(株)和歌山支店

生年月日: 昭和22年4月27日

事業内容: 証券業

所在地 : 和歌山市十番丁21

【米山奨学生 ワンさんより】



ご存知のように、今日は僕が現役の米山奨学生として最後の例会となります。

今まで参加させていただいたこと、そして皆さまから暖かいご支援をいただいたことを本当に感謝しております。ありがとうございました。

この一年間を振り返ると、僕は多くの方々との出会いを通じて学んだことが数え切れないほどあり、自分の人生の中でも大変貴重で充実した一年を送らせて頂いたと感じています。

このゼリアロータリクラブの皆さまからは人生について教えていただいたことが沢山ありました。僕をご指導下さった柴田さんと辻さんには非常に感謝していますし、お二人のいつも元気で誰にも負けない姿から、僕は人として、社会人としてどう生きるかを学ばせていただき、それはこれからの人生に大きな影響を与えると強く感じています。

米山奨学生になれて本当によかったと思います。

四月から社会人として人生を歩むことになる僕には、もし人生という道に迷うことがあれば、必ず自分がかつて米山奨学生であったことを振り返ってそして自分の築いてきた道を見つめてみます。皆様が教えてくださったことは一生忘れません。この一年間、お世話になりました。ありがとうございました。

【閉会の挨拶】



後和会長エレクト

本日は夕方から募金活動お疲れ様でした。沢山の募金が集まったようで、ありがとうございます。今回新入会員が4名入会されます。みんなで仲良くアゼリアRCを盛り上げていきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願い致します。

青少年交換留学生ホストファミリーよもやま話

田原サヨ子会員

私達の家族が、初めてホストファミリーをやったのは、今から30年ほど前のことでした。名前はパティーさん、高校2年生で、彼女は、AFS関係の留学生でした。その後、計20名のホストファミリーをやらせていただきましたが、年齢は、14歳の中学生から60歳の方までの男女、そして中学生、高校生、大学生、さまざまな職業の方と実にいろいろな方々を我が家にお迎えいたしました。最初は大変緊張しており、留学生から「Where is bathroom?」と聞かれた時「えっ！お風呂？ まだ昼なのに風呂の準備なんて出来ていないし、困った、困ったどうしよう？」悩んでいた時、自分で私の家中を探索し、トイレに入って行きました。「エー、そうだったのか。バスルームとはトイレのことだったのか？」トイレはToiletか、Restroomだと、思っていましたから、これは私達の勝手な思い込みによ

る失敗談の一つでした。それ以来、留学生から、いろいろと教えてもらい、決して日本流、和歌山流で物事の判断をしないよう心がけました。

さて、ロータリーに関しましては1994年度～2002年度までの間、アメリカ人が4名、カナダ人が1名、ドイツ人が1名、合計6名のホストファミリーをいたしました。6人6通り、本当に良い子もいれば、悪い子もあり、苦労したこともさまざまですが、楽しかった思い出も多々あります。「日本の道は狭いから、自転車通学は危なくていやだ。車で送り迎えしてほしい（勿論やりませんが・・・）」と言った子、一生懸命勉強し、中学3年までの漢字をマスターしてしまった子、一方ひらがなとカタカナしかマスターしなかった子（夕食後、私は彼女に日本語の特訓をいたしました）学校の制服を喜んで着て行った子、制服に対し拒絶反応を示し、私服で学校へ行った子（家を出るときは一応制服を着るのですが、途中で私服に着替えた）、今でも毎年クリスマスカードを送ってくる子、先日の震災の時、早速安否お見舞いのメールを送ってくれた子、等、様々です。総じて、この子たちに言えることは、日本人の同年齢の子に比べ、良く言えば自己主張が出来る、悪く言えば、気まま、本当に自己中の子が多いということでしょう。でも、今となっては楽しかった思い出一杯です。人生の素敵な思い出の引き出しの1つとなりました。

S・A・A報告 【3つの箱】

*ニコニコ箱

田原サヨ子会員 野村 伸会員 本日JR和歌山駅前での募金活動、ご参加ありがとうございました。
辻 曙生会員 ワンさん、笑顔をありがとう！

本日合計額 13,000円 今年度累計額 955,000円

*ロータリー財団

辻 曙生会員

本日合計額 55,000円

*米山奨学

辻 曙生会員

本日合計額 2,000円